



なつかしの 山吹

議会だより

あなたと議会を
つなぐ情報誌

No. **203**号 令和 5. 5. 15

主な内容

令和5年度の当初予算・令和4年度補正予算を議決 (3月定例会議)	2 ~ 5
予算決算特別委員会	6 ~ 8
常任委員会報告	9 ~ 11
5名の議員が一般質問	12 ~ 15
議会の主な活動・編集後記	16

山吹と桜



令和5年度予算を可決

◆ 一般会計 ◆

104 億 1,000 万円

◆ 歳入内訳 ◆

区 分	予 算 額
地方交付税（国から交付されるお金）	36 億 3,500 万円
町税（町民税、固定資産税など）	20 億 7,859 万円
国・県支出金（特定の事業に対して国や県が支出するお金）	12 億 1,327 万円
繰入金（特別会計や基金から繰り入れるお金）	12 億 6,694 万円
町債（借入金）	7 億 8,900 万円
その他（寄附金、使用料、手数料収入など）	14 億 2,720 万円

◆ 令和5年度 一般会計の主な重点施策 ◆

事 業 名	予 算 額
防災対策事業	1,388 万円
情報化推進事業（自治体DXの推進等）	7,055 万円
ふるさと納税事業	2 億 2,041 万円
六合ケーブルテレビ等情報施設運営管理事業	3 億 9,044 万円
六合地区観光施設管理事業（日帰り温泉施設の新築等）	1 億 4,722 万円
子育て支援関連事業（第1子・2子の出産祝金の拡充、乳児おむつ等補助対象年齢の拡充、入学準備応援費支給品の拡充、医療費助成の対象を18歳まで拡充等）	1 億 4,416 万円
慶朗会事業（招待者への記念品の拡充）	2,277 万円
予防事業（带状疱疹予防接種補助金の新設等）	9,010 万円
妊娠出産サポート事業（「伴走型支援」と「経済的支援」を一体化）	1,891 万円
森林経営管理制度事業（森林の整備推進等）	2,102 万円
中之条山の上庭園運営管理事業	4,337 万円
中之条ガーデンズ運営管理事業	1 億 5,568 万円
中之条ビエンナーレ開催事業	3,317 万円
町単独道路維持事業（道路等美化活動や危険支障木伐採の補助を新設等）	1 億 3,218 万円
英語力向上支援事業（英語検定の補助対象を高校生世代まで拡充）	215 万円
心の相談事業（相談員（現在2名）を拡充し、中之条小学校にも1名配置）	357 万円
ツインプラザ運営管理事業（雨漏り、外壁タイル等の改修工事）	1 億 5,526 万円
文化財保護管理事業（東谷風穴の整備、神保家住宅保存活用等）	7,116 万円
赤岩重伝建地区保存活用事業（湯本家住宅の改修工事等）	6,334 万円

定例会議 3 月

3月定例会議は、1日から15日までの15日間の審議期間で開かれました。2日には、5人の議員が一般質問を行いました。令和5年度各会計予算、令和4年度補正予算、条例の制定や一部改正、町道の変更のほか、人事案件では空席となっていた教育委員会教育長の任命に同意するなど、町長提出議案47件を審議し、原案どおり可決しました。

なお、新年度予算は集中的に審査するため「予算決算審査特別委員会」に付託されました。

また議員（委員会）提出議案として、個人情報保護法の改正に係る条例の制定1件を原案どおり可決しました。



定例会議 2 日目 (一般質問: 3 月 2 日) の傍聴席

◆特別会計・企業会計予算◆

7 2 億 7, 2 5 3 万 円

会 計 名		予 算 額	一般会計からの繰入金
特別会計	国民健康保険	18 億 4,300 万円	1 億 2,382 万円
	後期高齢者医療	2 億 7,500 万円	7,162 万円
	介護保険	20 億 2,000 万円	3 億 60 万円
	四万へき地診療所事業	6,400 万円	1,558 万円
	ゆうあい荘事業	6 億 5,200 万円	1 億 9,900 万円
	六合簡易水道事業	6,100 万円	3,930 万円
	発電事業	3 億 7,100 万円	—
企業会計	自動車教習所事業	1 億 537 万円	—
	上水道事業	3 億 5,953 万円	1,300 万円
	簡易水道事業	2 億 3,933 万円	3,808 万円
	下水道事業	8 億 743 万円	3 億 2,862 万円
	農業集落排水事業	4 億 7,487 万円	2 億 5,777 万円

令和 4 年度補正予算を可決

会 計 名		補正額	主な内容	予算総額
一般会計		△ 3 億 4,026 万円	農業資材等の価格高騰の影響を受けた農業者支援補助金の新設、各種事務事業の見込みによる増額又は減額	112 億 9,297 万円
特別会計	国民健康保険	134 万円	県支出金の確定による増額及び、財源の充当組み換えなど	19 億 8,074 万円
	後期高齢者医療	△ 480 万円	後期高齢者医療広域連合納付金の減額など	2 億 6,520 万円
	介護保険	△ 2,093 万円	保険給付費等の実績見込みによる減額など	20 億 3,228 万円
	介護老人保健施設 ゆうあい荘事業	△ 3,014 万円	業務委託料の減額など	6 億 402 万円
	下水道事業	△ 186 万円	改築更新工事費の確定による減額など	5 億 6,634 万円
	農業集落排水事業	105 万円	電気料高騰による増額など	3 億 4,755 万円
	発電事業	△ 3,803 万円	事業費の確定による減額など	3 億 7,877 万円
企業会計	上水道	53 万円	価格高騰に伴う水道利用料金 (基本料金) の減免による増額など	3 億 9,041 万円
	簡易水道	35 万円	価格高騰に伴う水道利用料金 (基本料金) の減免による増額など	2 億 5,814 万円

補正予算の主な質疑

富沢重典議員 木質バイオ

マスポイラーは、モニタリングから灰の処理まで業者に徹底させ、修理しながら六価クロムを抑えていく方向で、稼働させるべきでは。

町長 地域住民の方からも数値を下げるよう意見をいただいていますので、今後状況を見極めながら進めていきます。

福田弘明議員 慎重に物事を進めるのも良いが、灰を

きちんと管理できれば木質バイオマスポイラーを稼働させてもよいのでは。

町長 いろいろな方法で実証実験をきちんとし、数値も確認するなどし、業者等と相談させていただきたいと思います。

篠原一美議員 町の森林資源を有効活用することで導

入したので、町民の健康が担保されるのであれば、稼働に向け前向きに検討してほしいが。

町長 数値が下がってくれば、木質バイオマスポイラーも稼働して最大限利用したいと思っています。また、木材活用センターも始まるので町の林業の活用に努めていきます。

安原賢一議員 施設内の灰の保管も、危険だということ認識をもち、適切な処理等行っているから稼働を考えるべきだと思うが。

町長 保管状況を早急に確認し、業者と協議しながら適切に処理していきま

す。

山田みどり議員 今年度、

出生数が激減したが、今後子育て支援策を強化していくのであれば、今後の予算に活かすために原因を見極める検証をする必要があると思うが。

町長 急激に出生率が下がったことは、どういう状況が背景にあったのか、検証する必要があります。安心して子育てできるような支援体制はしっかり整えて

いきたいと思っています。

福田弘明議員 スパトレイル「(四万to草津)」が中止になるが、宿泊等で地域に貢献していただいた面がある。全国各地でトレイルラ

ンなどの大会運営を工夫して行っているところもあるが。

町長 本当に素晴らしい大会であり、ランナーの方も本当に喜ばれていたことは承知しています。一方で設営や運営など支える側の負担が大きくなり、実行委員会でも苦渋の決断をしたと考えています。

福田弘明議員 農業資材等価格高騰対策で補助金を新規で交付するが、農家の減価償却費は対象にできないか。

町長 減価償却は税制上で対応すべき性格のため、今回は、物価高騰対策が主で肥料、農薬など直接農家に負担がかかるものとしませんでした。

条例制定・改正

★特別会計条例の一部改正

特別会計で会計処理を行っていた下水道事業と農業集落排水事業が、令和5年度から公営企業会計を適用するため改正を行うものです。

★職員の給与に関する条例の一部改正

★企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

管理・監督の地位にある職員が災害等の緊急時の対応でやむを得ず休日や深夜勤務をした場合の手当について、国や県、郡内他町村同様に支給を行うものです。

★個人情報保護に関する法律施行条例制定

個人情報保護法が改正され、法に基づく全国的な統一ルールで運用が始まるため、新たに条例を制定するものです。

○質疑

山田みどり議員 デジタル化も促進される中で、どう

いう形で個人情報を取り扱われていくのか。

総務課長 町の個人情報の保護水準が変わるといふことではなく、それぞれの自治体で定めていたものを同じ取扱いにしていくものです。

★情報公開・個人情報保護審査会条例制定

両審査会は、設置目的など共通性が高いことを踏まえ、別々の条例で規定していたものをあわせ、新たに条例を制定するものです。

★放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉法に規定する運営基準の改正により、安全計画等の策定を義務づけるなど児童に対する安全確保について見直しを図るものです。

★国民健康保険条例の一部改正

令和5年度から出産育児一時金を48万8000円に引き上げ、産科医療保障制度の経費と合わせ支給額を50万円に増額するものです。

★国民健康保険税条例の一部改正

後期高齢者支援金等賦課限度額を現行の20万円から22万円に引上げるほか、低所得者の保険料軽減の所得判定基準の拡充を行うものです。

○質疑

山田みどり議員 制度改正

によりどのくらい影響が出るのか。

住民福祉課長 中間所得層の方々の軽減が拡充され、低所得者の軽減対象者が増えます。

★出産祝金支給条例の一部改正

出産祝金について、第1子を現行の5万円から10万円に、第2子を現行の20万

円から25万円に引き上げるものです。

★六合診療所職員住宅貸付条例の一部改正

六合温泉医療センターの廃止により、医師住宅を除く六合診療所職員住宅、看護師宿舎を廃止するため、条例の改正を行うものです。



見直し予定の六合診療所職員住宅

★六合しゃくなげハイツの設置及び管理に関する条例

廃止

六合温泉医療センターの廃止に伴い、施設を廃止するため、条例の廃止を行うものです。



六合しゃくなげハイツ

★林業者等労働環境施設設置及び管理に関する条例廃止

テニスコートや運動広場として利用していた施設ですが、老朽化や利用者の減少が続いており、国に返還するため、条例の廃止を行うものです。



管理棟など各施設の解体を終えた四万スポーツ林。国有林の土場として、国に返還します。

★小口資金融資促進条例の一部改正

小口資金借り換え融資期間を、昨年に引き続き令和6年3月31日まで1年延長するものです。

★町営住宅管理条例の一部改正

町営住宅の一部を解体したことに伴い、管理する戸数が増え、管理する戸数が増えたため改正を行うものです。



オガワハウスは79戸になります。

★下水道事業の設置等に関する条例制定

下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計が公営企業会計に移行することに伴い、経営の基本方針等を定めるため、条例の制

定を行うものです。

★健康管理等情報連絡施設設置及び管理に関する条例の一部改正

六合地区の民営方式による光通信網の整備に伴い、町のサービス提供が終了するため、所要の改正を行うものです。

★保育所設置条例の一部改正

保育所の入所者の増加に伴い、定員の変更を行うものです。

※中之条保育所 158人
※伊勢町保育所 159人



保育室の規模等を考慮し最大数を算出しました。— 写真 中之条保育所 —

★家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の関係省令の改正により安全計画等の策定を義務づけたり児童虐待防止対策の強化を図るものです。

★特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正

国の省令が改定され、デジタル化に伴い、保護者の手続きを電磁的方法により対応可能とするため、国の基準に合わせて見直すものです。

人事案件

★教育委員会教育長の選任

空席となっていた教育長について、新たに山口暁夫さん（山田）を選任しました。任期は4月1日から3年間です。



山口 暁夫 氏

★固定資産評価員の選任

地方税法の規定により、篠原良春副町長を固定資産評価員に選任しました。

※固定資産評価員は、固定資産を適正に評価し、価格の決定を補助します。

町道の廃止等

★町道の廃止

田代原10号線（入山）
※主要地方道中之条草津線の道路敷に移管されたため。

★町道の変更

成田原中央線（折田）
小枝沢1号線（大塚）
※町道の一部が現存していないため。

規約の改正

★市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

市町村や一部事務組合等で共同設置している群馬県市町村公平委員会に令和5年度から新たに2団体が参

加することに伴い規約変更するものです。

条例制定※議員提案

★議会の保有する個人情報保護に関する条例制定

個人情報保護法の改正に伴い、議会は改正法の適用対象外とされ、法形式や規律の内容も含め、適切な対応を図る必要があるため、条例制定を行うものです。

○質疑

山田みどり議員 事務負担が増加するなど具体的なことはあるか。

関常明議会運営委員長 基本的には法改正に伴うもので、事務の増加等はないと考えています。

専決処分の報告

★県市町村総合事務組合規約の一部改正
構成団体の変更により規約を改正するものです。

予算決算審査特別委員会

委員長 山本日出男
副委員長 関 常明

3月定例会議の初日に一般会計、特別会計及び事業会計の当初予算の議案審査を予算審査特別委員会に付託し、重点事業を中心に3日間にわたり幅広く審査し、意見集約を行いました。

重点事業等の主な質疑

●一般会計

《防災対策について》

問 消防団員が減少する中で、経験や知識が豊富なOBを協力隊として活用すべきでは。

答 六合地区には現在、支援隊がありますが、町全体として役割や規模等について消防団でも協議が始まっています。

問 防災士の受講費用は補助されているが、受講する会場が遠い。もう少し近くで受講しやすい環境を整えられないか。

答 防災意識を高める観点からも非常に大切なことですので、県とも協議し取り組んでいきたいと思っています。

《公共交通について》

問 障がいをお持ちの方も安心して外出ができるような交通弱者対策の考えは。

答 障がい者や高齢者の足の確保は重要なことなので、総合交通会議として時間ばかりですが、調査研究をした中で総合的な検討を考えていきます。

問 金額だけでなく使う側の利便性も必要であるが、総合交通会議でそうした声をどのように聞いていくのか。

答 福祉タクシーやデマンドバス、買い物支援バスなど担当課もばらばらなので、利用者や既存の交通会社の状況を聞き、課題を洗い出すことから進めていきたいと思っています。

《未来戦略ビジョンについて》

問 未来戦略会議での意見を各種事業に反映していく中で、こういった方の参加を予定しているのか。

答 20代、30代、40代など今後、町を背負っていく方々に参加いただき、どのようなまちづくりをしたいかなど意見を聞ければと思います。

問 講演や研修等も予定しているようだが、具体的に決まっていることはあるか。

答 人材育成という面もあるので、聞いてみたい講師や指導いただきたい方などがあれば、柔軟に対応していく考えでいます。

《ふるさと納税等について》

問 ふるさと納税ができる自動販売機を施設に設置すれば集客にもなると思うが。

答 自動販売機の設置も含め、ふるさと納税を増やすためにいろいろ調査しています。かなければならないと考えています。

《賀詞交歓会について》

問 賀詞交歓会について予算計上がないが、どのような意味で事業を削ったのか。

答 ここ数年、コロナ禍により中止の状況が続いており、今の状況では再開するのは難しいのではないかと意見もありましたので削らせていただきました。

《紙おむつについて》

問 保護者の負担軽減のためにも幼稚園や保育所で使用した紙おむつは、各施設で処理することはできないか。

答 衛生面や排出量を考慮し、毎日、衛生センターへ搬入が可能か、また、ストックする場が確保できるかなど状況を調査し検討していきます。

問 紙おむつを町外の店舗やインターネットで購入しても助成されるが、町内での購入に限定すべきでは。

答 紙おむつの助成については、対象年齢を1歳から2歳に拡充しましたが、半数は町外で購入しているの

で、実績を見ながら研究させていただきます。

問 乳児への紙おむつの助成については拡充されたが、障がい者への給付も拡充できないか。

答 少し調査させていただき、どういう状況なのか見させていたきたいと思えます。

《带状疱疹について》

問 带状疱疹のワクチン接種補助が事業化されたが、発症の予防効果や持続効果があるワクチンは費用も高額なので、助成の額を増やす考えは。

答 住民のニーズが非常に高いため、今回初めて取り組む事業です。利用状況を見ながら検討を進めて参りたいと考えています。

《妊娠出産サポート事業について》

問 自分が相談したい時に相談できる体制が理想であると思うが、スマートフォンなどを活用した相談体制はできないか。

答 妊娠中から子育て期にかけては精神的に不安定になることもあるため、寄り添っていくことが大事です。時代の変化に応じた、柔軟な相談体制がとれればと考えております。

《合葬墓について》

問 建設にあたり関係機関と協議を進める中で、事業計画も継続のままとなっていたが現状は。

答 社会情勢の変化により、個人墓を維持するのも大変になっていきます。必要性はあると思いますので、前向きに検討し、手続きを進めて参ります。

《図書館について》

問 図書館を民間委託から直営に見直すか、他にも民間委託している施設等があるので、総合的に考えるべきでは。

答 すべて委託が悪いというのではなく、経費等を精査し状況に応じながら対応しています。図書館の場合は、委託料も年々増加し

ており、利用者も減少傾向にあることから判断させていただきます。



民間委託から町の直営管理になる図書館

《湯本家住宅について》

問 3年間の工事と並行して利活用についても地元の見解を聞きながら総合的に考えてほしい。また寄贈された薬草の標本の展示などについても検討してほしいが。

答 多額の費用をかけるわけですから、様々な意見を聞き利活用について考えていきます。標本関係については、湯本家で展示することは有効だと思いますが、展示の環境等も考慮する必要がありそうですので検討していきます。

《赤岩重伝建地区保存活用について》

問 建物の外壁修理等に100%の補助金を継続して出しているが、そろそろ見直しを考えるべきでは。

答 事業の開始からどれくらい継続しているのか等を踏まえ検討していきます。

《英語力向上について》

問 英語検定の補助対象を高校生世代まで拡充した思いは。

答 インターネットの普及や、ビエンナーレに海外から参加される方が増えたこと、また、観光でもインバウンドなど子供たちが世界の方々と交流する機会が増えています。そのような場面で対応できるように、英語に一生懸命取り組んで欲しいと思ひ、期待を込めて対象を拡充しました。

《中之条ガーデンズについて》

問 管理の指導委託料が高いという意見がある中で、先生方と交渉し今回減額と

なっているのか。

答 グランドオープンしてから3年が経過し、先生との話し合いの中で経費削減について検討させていただきました。

問 いつ頃までに指導委託料がなくなり、管理費だけになるか計画はあるか。

答 4人の先生方と話をしましたが、年数は決めていません。今すぐ管理を預けられても技術面など人材の育成も必要ですので、推移を見ながら計画していきます。

問 町民が心配しているのは、多額の建設費をかけ、運営も赤字であることだと思ひ、今後どのようにしていくのか。

答 予算編成にあたり実際に現場に足を運び在庫管理や機械の利用頻度、修繕箇所の確認など、詳細に精査し経費削減に努めました。黒字にならなくても、例えば高校生の学習等の拠点になったりすれば利益になると考えています。

《山の上庭園について》

問 テイクアウト事業はするが、レストランが廃止になるのは観光的にも食事をするところがなくなってしまうので痛手だが。

答 六合地区の花農家の方が精力的に活動してくださっており、ドライフラワーも一大産業になっていきます。レストランは縮小になりますが、町でも地域の要望に応え活動を支援していきます。



ドライフラワー製作に力を入れていく山の上庭園

《自伐林業支援について》

問 大きなプロジェクトに乗らない零細林業家に対し、自伐型林業支援補助金

を新設した考えは。

答 県知事に林業家が大変な力を入れているので力を入れていただきたいことや自然の中で仕事をするので安全対策についても要望してきました。移住者の中にも林業に関心のある方がいると思うので支援していくことも大切だと思っています。

《直営舗装について》

問 共創のまちづくりの代表的な事業だが、高齢化によって負担がある。事業を継続するのに地域の実情をどう考えているか。

答 高齢化により負担になっていることは承知していますが、舗装距離も長く、維持していくためには地域のご協力が必要不可欠である実情をご理解いただければと思ひます。

《温泉施設の熱源について》

問 六合診療所の熱源は、木質バイオマスボイラーから灯油ボイラーに変更したが、同じ場所に建設予定の温泉施設の熱源は。

答 木質バイオマスボイラーの安全性やコストも含め、また林業活用も視野に入れ検討しますが、今の状態では灯油ボイラーを予定しています。

《森の学校について》

問 端的に事業内容について心配される。予算化するにあたり人数や対象者、費用等をどう考えているのか。

答 旧沢田小を活用して、子供たちや興味のある方に森林に触れるようなものから環境に係わるものまで、プロジェクトマネージャーを中心に検討をしています。今後、東京都北区と連携し、10人くらいの単位で山に入って環境教育を受けようという形を計画しています。

予算審査結果

議案第1号から議案第13号について3日間にわたって審議した結果、すべての予算において全員賛成となりました。

総務企画

開催日 令和5年3月6日

委員長 安原 賢一
副委員長 大場 壯次
委員 唐沢 清治・小栗 芳雄
 劔持 秀喜

更新後の消防自動車の活用について

小栗芳雄委員 更新になって不用となった消防自動車や指令車は、今後どのように活用するのか。

総務課地域安全係長 更新後の車輛8台すべてについて、オークションに向け、現在事務手続きを進めています。

小栗芳雄委員 官公庁のオークションでも消防車は大量に出品され、高額で落札されている。町の予算にも反映できるので早く対応を取っていただきたい。



オークションにかける予定の更新後の消防自動車

消火栓用ホースの格納庫の備品について

小栗芳雄委員 消火栓付近にホースの格納庫が設置されているが、地下式の消火栓に対応した器具がなかったり、訓練時に水漏れが激しいホース等があるが、交換など対応は。

総務課地域安全係長 格納庫の点検等については、行政区等にお願しています。役員の方も変わりますので、行政区や消防団の方にも、確認をさせていただきます。

サテライトオフィスについて

唐沢清治委員 毎年、予算の計上がされているが、この事業を利用した会社等の実績は。

企画政策課長 今までサテライトオフィスの補助金制度を活用した企業はございません。

唐沢清治委員 今後、町内にオフィスを構えてもらえるように、利用されるような形や方法をとっていただ

きたい。

サテライトオフィス開設支援事業とは：

新たな仕事を創出し、地域経済の活性化及び地域雇用の促進を図るため、町内に新たにサテライトオフィスを開設・運営する企業等に補助金を交付します。

※物件改修費用補助や開設支援金を交付。

サテライトオフィスとは：

中之条町外の企業等が拠点事務所から離れた町内に事務所を開設し、従業員がテレワークにより、業務を行う就業場所となる事務所。

防災備蓄品について

劔持秀喜委員 地区防災計画を策定した地区に町から消耗品等を提供し、町でも防災倉庫に備蓄をしているが、大災害時など到底足りないと思うが。

副町長 人口等を考えた中で、町でも消耗品等について備蓄しています。災害が大規模になれば町だけでは賄いきれませんが、吾妻郡内の町村との協定に基づき相互で応援していただくことになっています。

経常収支比率について

劔持秀喜委員 吾妻郡内の町村と比較すると数値的にあまり良くないが、今後の見通しは。

副町長 現状では、町債残高のピークは令和2年度であり、今後減少していくと思われます。また起債の償還額も令和4年度をピークに減少していきます。ただし、公共施設の修繕も予想されることから、施設についてはできるだけ有効活用し、必要な施設について修繕していくなど工夫や対応が必要になります。



町から地区防災組織へ提供する備蓄品等

文教民生

博物館の保管庫について

関常明委員 博物館の保管スペース確保が懸案となっている。町の大切な財産なので保管する場所を考えてほしいが。

町長 寄贈いただいた大切な財産です。他の施設で保管している状況もありますので、適切に管理できるように博物館等とも相談していきま



博物館ミュージゼでは、収蔵品の数も増え保管スペースの確保が課題となっています。

施設の民間委託について

関常明委員 図書館を直営に戻すが、現在町で民間委託している施設等についての基本的な考え方は。

開催日 令和5年3月7日

委員長 富沢 重典

副委員長 関 美香

委員 関 常明・山本日出男
山本 隆雄

町長 民間委託を否定しているのではなく、民間に委託して成果が表れるものは委託し、直営で行ったほうが経費など効率の良いものは柔軟に対応していく考えです。

集団登校について

関美香副委員長 児童・生徒の減少により少人数での集団登校に不安の声があるが。

町長 子供が一人の地区も出てきており、危険な場所はスクールバス対応もされているので、現状をしっかり把握していきたいと思えます。

アウトメディアについて

関美香副委員長 高校生になるとスマートフォンなどを確実に持つと思う。その手前で教育現場においてもスマートフォンを使い方の指導を行うってほしいとの要望があるが。

町長 難しい問題ですが、家庭や教育委員会と連携し、事故に巻き込まれない、スマートフォンなど正しく

く使えるようしつかり研究していきます。

アウトメディアとは：

電子ゲームやスマートフォンなど、電子メディアに接触する時間を減らし、自分自身の時間や人と人とのつながりの時間等を大切にしようというものです。中之条町でも、この取り組みを推進しています。

子育て支援の拡充について

山本日出男委員 出生率が高く、「奇跡の町」と言われる自治体と子育て支援政策を比較しても、中之条町は子供を育てる環境は充実していると思うが。

町長 子育て支援の内容は変わらなと思っていますが、PRなど情報発信が不足していると思えます。子育て支援をして若い人を育てれば、結果的には地域の支えになると思えます。

山本日出男委員 出生率が高くても大人になって町外へ出て行ってしまふ。子供たちが町に帰ってきてくれる政策で解消されると思うが。

町長 60代より40代の移住者が増える中で、何を基準にするかという

なっています。また外から町を見たときに、自分の故郷に愛着を持っていただくことも大切だと思っています。

老人クラブについて

山本隆雄委員 代表者等のなり手不足から老人クラブの解散が進んでいる。サロン等も高齢化が進んでいるが、今後どのように考えているか。

町長 ぜひ元気に頑張ってもらいたいので、老人クラブの方とも相談させていただき意見を尊重しながら、連帯感をもって安心して暮らせるようにしていきたいと思えます。

健康増進施設の設置について

関美香副委員長 近隣町村の健康増進施設や民間の有料施設を利用して町民の方が多くいるので、町でも空き施設等を活用して健康増進施設を設置できないか。

町長 健康に関心のある方は沢山いますので、教育委員会とも調整し、どのような器具が必要か、既存の施設の稼働率も含め現在調査しています。

産業建設

中之条ガーデンズの利用等について

篠原一美委員 町民や町外から訪れた家族等が、より楽しめるようにパーベキュー棟を作ってほしいが。
齋藤祐知委員 旧薬王園を譲り受けた際には、パーベキュー棟が設置され収益もあったと聞いている。パーベキュー棟の設置に対し強い要望もあるが。
町長 町民からの強い要望を先生方にも繋げていただき、意見を吸い上げていただけるよう話し合いながら研究したいと思います。

篠原一美委員 営業戦略としてイベント情報など観光協会等と連携を強化し、町外にPRをすべきと考えるが。

町長 以前にも営業強化の指摘をいただいております。先生方とも話をし、PRができていないことは十分認識していますので、関係者と相談し観光協会の力も借りながら、また

開催日 令和5年3月8日
委員長 福田 弘明
副委員長 佐藤 力也
委員 山田みどり・篠原 一美
齋藤 祐知

いろいろな媒体を利用していききたいと考えています。



パーベキュー棟設置の提案があったピクニックエリア及び駐車場周辺

木材活用センターについて

山田みどり委員 木質バイオマスボイラー3棟が停止している状況で、今後予定通りにチップを製造し販売していくのか。

農林課林業振興係長 販売の優先順

位として町の木質バイオマスボイラーがありますが、製品販売の判断は事業者自身ができますので、町以外の販売先も検討しています。

森の学校について

山田みどり委員 森の学校について、東京都北区の子供たちを検討しているようだが、公募等によりほかに広げていく考えは。

農林課林業振興係長 モデルアップ事業として、まずは北区を予定していますが、森の上流と下流域ということを考え、事業を成功させ他の自治体へも広げていければと考えています。

四万ゆずりは荘について

佐藤力也副委員長 プロポーザル方式で指定管理者の募集を予定しているが、対象、期間、条件等は。

観光商工課長 広く募集するため特に地域は限定しないで実施し、期間は町観光協会に指定管理を行った時と同様に5年を予定しています。住民健診時の会議室利用や災害時の緊急避難場所にも指定されているので、その機能を維持していただけるような条件等は付す予定でいます。



今後の利活用について、検討が始まっている国民宿舎四万ゆずりは荘

水道料金について

佐藤力也副委員長 水道管が破裂する事案が多かったが、現在の水道料金体系は。

企業課長 年間を通して、使用量に応じた料金体系です。

佐藤力也副委員長 夏と冬の料金を変えている自治体がある。寒波にみまわれると水道を出したままの方が凍結防止になるので、料金体系について、今後調査研究してほしい。

3月定例会議 議員5名が一般質問

○関 常明 議員・・・13ページ

- 1 新年度予算について
- 2 就任後改めて見て町政の問題点は

○佐藤力也 議員・・・13ページ

- 1 令和5年度当初予算編成について
- 2 今後のまちづくりについて
- 3 スポーツ大会について

○福田弘明 議員・・・14ページ

- 1 財政運営について
- 2 町政運営について
- 3 行政運営について
- 4 保健衛生について

○山田みどり 議員・・・14ページ

- 1 国民健康保険の均等割について
- 2 高齢者の支援について
- 3 六合中学校について
- 4 会計年度任用職員について

○大場壯次 議員・・・15ページ

- 1 国民宿舎四万ゆずりは荘について
- 2 中之条ガーデンズについて

- ・各議員から提出された「一般質問通告書」の内容を掲載しています。
- ・紙面の都合上、各議員のページには質問の一部を掲載しています。

詳細については、ホームページでも確認できます。

◇ 議会の傍聴についてのお願い ◇

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴や観覧を希望される皆様には、マスクの着用や自粛等のお願いをすることがございますので、ご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、傍聴につきまして入場制限を行うこともございます。役場3階第1委員会室で本会議の様子を観覧できますのでご利用ください。

次回の定例会議は、6月6日（火）から21日（水）の予定です。

町政運営の課題と優先順位について

町長一まずは子育て支援、地域支援を優先します。



関 常明 議員

町政の問題点について

議員 予算については、町の人口、財政状況等様々な条件で決定していると思うが、現時点で町の適正規模があるとするほどの程度と考えているか、また根拠は。

町長 人口や面積、人口構成や産業構造等の違う他の自治体と単純に比較するものではないと思っています。予算については、町民のために、経費節減に取り組みながら必要とされる事業を実施していくかどうかが問題であって、その総額は積み上げた結果であるので、歳入が見込まれる範囲で住民サービスを提供していくものと考えています。

議員 今後を考えて一番の課題、また取り組む優先順位は。

町長

町独自の課題ですが、県内で4番目の面積を有し、集落が点在しているため、その集落の維持や生活機能の低下への対応が必要だと考えています。高齢者の見守りからゴミ出し、草むしり、買い物支援、交通利用、災害対応等の生活支援が大きな課題となると思われれます。まず、町で取り組んでいくべき課題としては、やはり子育て支援、そして地域を支援する、それから教育にも力を入れていきたいと考えています。出産祝金やおむつ購入費の助成、あるいは入学準備応援品等の給付事業の拡充、またコミュニティが希薄化する中、地域の存在意義を高める活動を支援していききたいことから、地域クリーン作戦補助金や道路沿線危険支障木伐採補助金を創設し支援していききたいと思えます。

順位をつけると、子育て支援、地域を応援する、こういったことになろうかと思えます。

支障木伐採、今後の取り組みは

町長一新年度より伐採除去に補助金を交付



佐藤 力也 議員

総合交通対策会議について

議員 近年、火災や通行を妨げる原因となつている道路脇の支障木伐採について、今後の対策は。

町長 原則、所有者に伐採していただくものと考えています。行政区からの要望の道路等の日照改善や有害鳥獣対策に繋げる対策には、ぐんま緑の県民基金事業で対応しています。なお、新年度から、道路沿線危険支障木伐採補助金を交付し、所有者等の対応を促すこととしました。

議員

現在の課題と今後の取り組みは。

町長

課題を洗い出し、町民の皆様や事業者及び関係省庁の意見を伺い、総合的に検証し、より利用しやすい交通体系の推進を図っていきます。公約の一つでもあるので、

時間はかかるが、交通弱者対策の実現を図っていききたいと考えています。

木質バイオマスボイラー再稼働について

議員

再稼働までの今後の予定は。

町長

燃焼室及び熱交換器の耐熱部材にステンレス鋼が使用されており、部材に含まれるクロムが高温腐食により濃化し、燃焼灰に混入したことが主因だと判断されています。燃焼室のリングをスチール製に交換し、熱交換器の灰が六価クロム濃度の基準値未満となることを確認した後に、再稼働の検討をしたいと考えています。

地域通貨（電子マネー）導入について

議員

現在の進捗状況と今後の方針は。

町長

検討中ですが、具体的な前進には至っていません。令和5年度中に事業者や利用者の意向調査を実施したいと考えています。

予算100億円超え、今後の財政運営は

町長—経費節減を図り、緊急性、優先順位により事業を実施。



福田 弘明 議員

議員

町の財政状況を示す指標は悪くない、100億円にこだわることなく積極的な予算処置をすべきではないか。

町長

当初予算額については、料費及びエネルギーコストの世界的な上昇、さらには円安の影響により、建設資材価格の高騰に直面しており、工事請負費や施設修繕費等は、緊急性を考慮し、優先順位により実施することとしました。今後も、経費の節減に取り組み、事業の実施について検討していきたいと考えています。

少子高齢化による人口減少について

議員

少子高齢化により人口減少が心配されているが、健康であれば高齢化でも心配することはないと思うが。

町長

町民の健康づくりについては、出生・育児から健康寿命の延伸まで、生涯を通じて健康に生活を送れることを目的として各事業に取り組んでいます。今後も町民の皆さんが健康で過ごせるよう、各事業を展開したいと考えています。

人間ドック実施施設について

議員

補助対象の人間ドック実施施設に、日本人間ドック学会の認定施設が含まれてない。同学会会員施設も一箇所のみ、県内どこでも受診できる町職員に比べ不公平ではないか。

町長

何といっても健康は第一ですから、過去の経緯も含めて、今後担当課とよく相談し、なるべく皆さんにご利用いただけるよう検討したいと思っています。ご意見として伺っておきたいと思えます。

国保税均等割の減免を18歳までに拡充を

町長—今後の動向を注視し、検討します。



山田みどり 議員

議員

国民健康保険の均等割は子育て世代に大きな負担となっている、減免を18歳まで拡充できないか。

町長

町では、子育て世代の世帯の負担軽減事業はほかにも実施しています。また実施が検討されているものもありますので、国民保険均等割の拡充の必要性については、今後の動向を注視しながら検討していきたいと考えています。

国民年金でも入れる特養ホームの新設を

議員

超高齢化率が高まる中、年金でも入れる特別養護老人ホームを作ってほしいという声が多く聞かれます。町では様々な施設があるが、介護保険を使っても自己負担

分担が高く家族の支援がなければ入所できないという方がいる。老後も安心して生活できるよう公的支援は必要ではないか。

町長

特別養護老人ホームにかかる費用は、施設や介護度、収入に差はありますが、所得が80万円以下の方は介護保険負担限度額認定証を申請し、該当すれば、居住費と食費が一定額になり、月額6万円から7万円の金額となります。その他、医療費や保険外の費用等がかかりますが、ほぼ年金収入で入所できる状況になっています。入所を希望される方が収入状況等で入所を躊躇される場合は、個々に相談していただきたいと思っています。年金がだんだん減額されているので、しっかりと研究して、検討していきたいと考えています。

ゆずりは荘の今後の管理は

町長一公募により管理先を決定します。



大場 壯次 議員

議員

ゆずりは荘は、昨年9月11日から休館となっているが、その原因と経緯は。

町長

指定管理先の町観光協会から申し出があり、協定書の規定に基づき令和5年3月31日をもって指定管理解除の許可をしました。新型コロナウイルスの影響による売り上げ低迷、赤字経営の長期化による経営難、人材確保が困難など、経営改善の努力・検討を続けてきましたが改善方法が見いだせない状況となり休館に至ったと報告を受けています。

ゆずりは荘の今後について

議員

今後、施設はどのようになるのか。

町長

宿泊施設に限定せず、文化・スポーツ施設、介護や福祉施設等利活用方法の選択肢を広げ、地域の活性化や雇用の促進等の地域の振興に期待し、公募型のプロポーザル方式による指定管理先の決定を考えています。企画提案書の受付、選定委員会による審査を経て6月定例会議で承認を得るべく準備を進めたいと考えています。

中之条ガーデンズ業務委託料について

議員

令和3年度と4年度の委託料を比較すると、ほぼ同額である。ハード面完成とともに運営的なものは職員で担い、技術継承にて、委託料も減らすべきではないか。

町長

将来的に、職員が主体となり立ち立てきる施設にしていかなければならないと考えています。クオリティの高い中之条ガーデンズを維持するために、町の環境にあった指導・技術継承をお願いしていきたくと考えています。

~~~~ 議会で情報発信中!! ~~~~

会議録や議員ごとの視察研修報告、本会議の録画配信をご覧いただくことができます。議会だよりもホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

議会ホームページ

URL <https://www.town.nakanajo-gunma.jp/site/nakanajo-gikai/>



議会の主な活動

- (1) 2月 14日 群馬県町村議会議長会定例総会
- (2) 14日 吾妻郡町村議会議長会臨時会議
- (3) 17日 自動車教習所運営委員会
- (4) 21日 西吾妻福祉病院例月出納検査
- (5) 22日 議会運営委員会
- (6) 22日 全員協議会
- (7) 22日 ビエンナーレ運営委員会
- (8) 26日 令和4年度吾妻地域文化フェスティバル
- (9) 27日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会(1日目)
- (10) 27日 吾妻環境施設組合議会
- (11) 27日 吾妻東部衛生施設組合議
- (12) 3月 1日 中之条町議会3月定例会議(1日目)
- (13) 2日 中之条町議会3月定例会議(2日目)
- (14) 6日 予算決算審査特別委員会(1日目)
- (15) 6日 総務企画常任委員会
- (16) 7日 予算決算審査特別委員会(2日目)
- (17) 7日 文教民生常任委員会
- (18) 8日 予算決算審査特別委員会(3日目)
- (19) 8日 産業建設常任委員会
- (20) 15日 中之条町議会3月定例会議(3日目)
- (21) 20日 小口資金融資審査会
- (22) 27日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会(2日目)
- (23) 28日 西吾妻衛生施設組合定例会
- (24) 28日 西吾妻福祉病院組合定例議会
- (25) 4月 12日 まちなか5時間リレーマラソン運営委員会
- (26) 14日 区長会議
- (27) 14日 議会広報特別委員会
- (28) 25日 自治体議会特別セミナー
- (29) 25日 議会広報特別委員会
- (30) 28日 まちなか5時間リレーマラソン実行委員会



(26) 今年度は、役場大会議室で区長会議を開催できました。

議員表彰

- ・全国町村議会議長会自治功労表彰(2月8日)
山本隆雄議長、齋藤祐知副議長、安原賢一議員、
小栗芳雄議員、福田弘明議員
- ・群馬県町村議会議長会特別表彰(2月14日)
山本隆雄議長、劔持秀喜議員
- ・群馬県知事自治功労感謝状(2月14日)
齋藤祐知副議長、安原賢一議員、小栗芳雄議員、
福田弘明議員



左から山本議長、劔持議員、齋藤副議長、
福田議員、小栗議員、安原議員



- 議会広報特別委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 篠原 一美 |
| 副委員長 | 佐藤 力也 |
| 委員 | 山田みどり |
| | 関 美香 |
| | 大場 壯次 |
| | 齋藤 祐知 |

いつも議会だよりをご愛読ありがとうございます。
『あなたと議会をつなぐ情報誌』として、4年間編集して参りました。
ご支援・ご協力ありがとうございました。

編集後記

篠原 一美